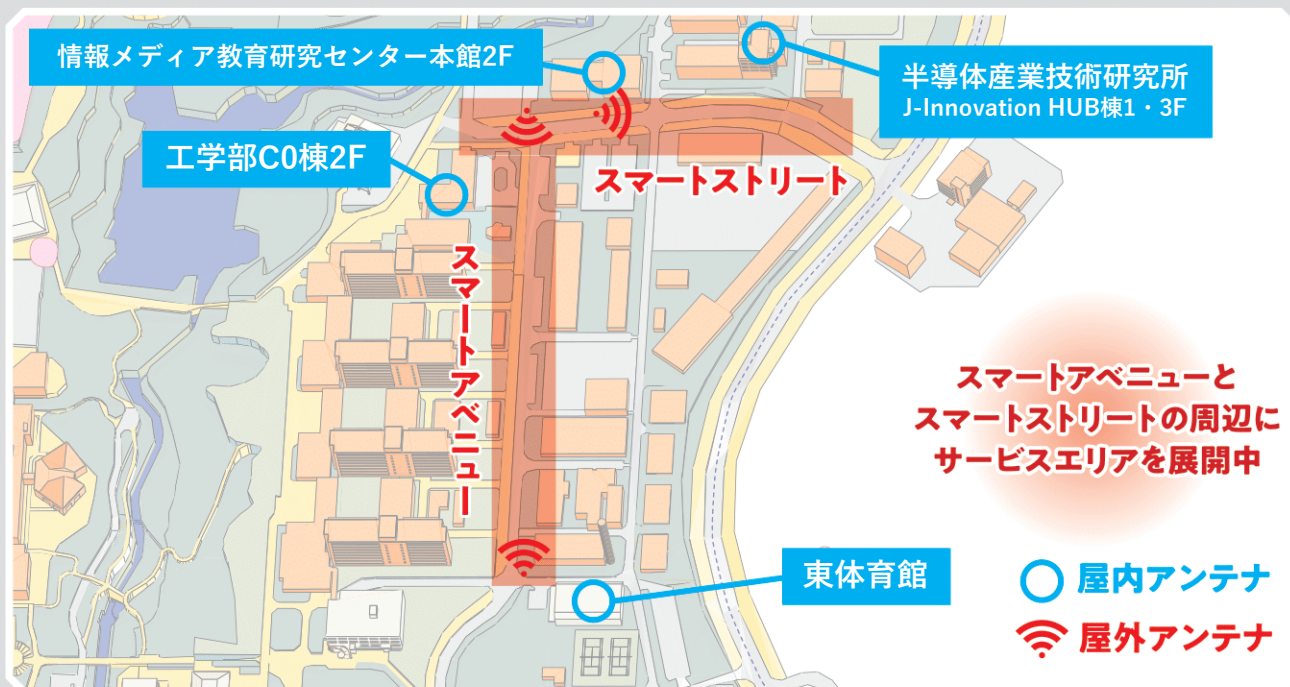


広島大学ローカル5G

広島大学は2023年8月、東広島キャンパス内に自営の第5世代モバイル通信システム（ローカル5G）を整備しました。これは広島大学が通信キャリアと同じように、大学敷地内で無線通信サービスエリアを展開していることになります。ローカル5Gには高速大容量・低遅延・多数同時接続という5Gの特性を持ったネットワークを、目的に合わせて柔軟にデザインして構築できる強みがあります。通信に使われる電波の周波数帯は、Wi-Fiや大手キャリアが提供する5Gのものとは異なるため、他からの干渉が小さく、安定した無線通信が可能です。このような特徴をもった広島大学ローカル5G（広大L5G）は、多様なユースケースに対応できる最先端技術の実証環境としての活用が期待されています。

無線接続カバーエリア

東広島キャンパス内、メディアセンターと工学部棟周辺（南北約300m、東西約200m）。



貸出可能機器リスト（広大L5G対応）

手ぶらですぐに広大L5Gを利用したい方

スマートフォン型端末

型名：FCNT SMDE01001（型式：SD01）
台数：15
※電波測定アプリインストール済



ノートPC型端末

型名：Fujitsu LIFEBOOK U9312/K
（型式：9U13A3）
台数：10



カメラ内蔵エッジデバイス

型名：FCNT 5G・ローカル5G対応
エッジAIカメラ
（型式：AW02）
台数：10



お持ちのPCやスマホなどで広大L5Gを利用したい方

※USB Type-C（各種アダプタも用意）

モバイルルータ型端末

型名：KYOCERA K5G-C
（型式：KYOCERA K5G-C-100A）
台数：15



ドングル型端末

型名：APAL Tributo dongle（型式：Tributo）
台数：20



お持ちの5G対応端末で広大L5Gを利用したい方

SIMカード

サイズ：nano SIM
枚数：30
※対応するデバイスの確認が必要です。要相談。

問合せ先：広島大学情報メディア教育研究センター

<https://www.media.hiroshima-u.ac.jp/services/local5g/>



詳細や申し込みは
◀こちらから
これまでの取り組み等は
裏面を御覧ください▶

広大ローカル5Gに関する取り組み紹介

本学構成員や地域住民への普及活動：開局セレモニーとデモ展示イベントの開催

@広島大学ホームカミングデー & 大学祭 (2023/11/4-5)

開催時の詳しい様子はこちら▶



中国総通局長が来学
2日間で約180名の方に
ご来場いただきました！



電波可視化や遅延の影響が体感できる遠隔操縦，
4G/LTEとL5Gの違いが体験できるアバターロボット
操作などのデモ展示を行いました。

学会参加者への利用促進活動：ポスター展示とデモ展示イベントの開催

@電子情報通信学会（IEICE）総合大会 (2024/3/5-8)



学会参加中の約50名の方に
足を運んでいただきました！

映像を活用した高精度位置測位に関するデモ
動画と、遠隔作業支援や学生が制作した電波
可視化ツール体験のデモ展示を行いました



高精細映像伝送
L5Gネットワークと対応
端末を用いて伝送された
4K映像が見られます。

お越しいただければ
体験することが出来ます。



稼働状況の可視化
キャンパスネット
ワークHINET側
(外部)からサーバ
の死活監視や通信量
などが確認出来ます。



電波状況の可視化
仮想3D空間上の整備環境内を
移動しながら、電波状況や通信
速度が確認できます。



Cesium JS を利用

2024年9月には、一般社団法人全国陸上無線協会（RMK）
中国支部の会員の方に向けて施設見学会を開催しました。

大学・企業問わず共同研究や試験利用を受け付けています！

よろず利用相談も随時行っていますのでお気軽にご連絡ください。

問合せ先：広島大学情報メディア教育研究センター

<https://www.media.hiroshima-u.ac.jp/services/local5g/>

詳細や申し込みは
こちらから▶

